

七月の天象

太陽 赤緯は六時三十七分から八時四二分迄増加し、赤緯は北二三度一〇分から一八度一三分迄減する。八日午後一時四二分小暑節。二日午前三時三十分土用。二四日午前七時三十分大暑。太陽は第二の夏の宮なる獅子宮に入る。

地球 六日午前九時遠日點通過、太陽よりの距離一億六千一百九十七萬七千二百五十料。六日午前一時五十六分下弦。十四日午前九時四十分新月、二十一日午前一時三十分上弦。二十八日午前七時三十分滿月。七月午後八時四十八分遠地點通過。二十二日午前一時五十四分近地點通過。尚次の諸星を掩蔽す。

二日水瓶座 α 。九日牡牛座 γ 。十日牡牛座 α 。

十八日乙女座 α 。三十日水瓶座 ϕ 。

水星 一日赤緯五時一〇分三秒、赤緯北二一度一分、十六日赤緯七時九分四六秒、赤緯北二三度二六分。本月中太陽に近接し過ぎて観測し得ず、十五日地球よりの距離一億九千〇三萬六千餘料。二十二日外合。

金星 一日赤緯五時一四分一〇秒、赤緯北二二時二四分、十六日赤緯六時三十三分三秒、赤緯北二三度一三分。曉の星、日出前一時間に出て、日出時に水平線上十度の高さを保ち、太陽の十六度南にあり。其光度負三・三三・四等。十五日視直徑一〇・一八秒、同日地球よりの距離二億四千六百〇八萬四千餘料。十三日午前一時三〇分と合(月の北四度三十七分)あり。十六日午後九時昇交點通過。

火星 一日赤緯七時二九分五三秒、赤緯北

二二度五六分、十六日赤緯八時一〇分五五秒、赤緯北二一度一分、雙子座から蟹座迄順行する。宵星、本月中観測に不便な位置にあり。十五日地球より距離三億九千五百七萬餘料。十五日午前三時八分と合(月の北四度四〇分)あり。

木星 一日赤緯一四時二八分二二秒、赤緯南一三度二七分、十六日赤緯一四時二八分三秒、赤緯南一三度二三分、宵星。月初め天秤座西方を逆行し、八日の留を経て東行となる。極直徑三八・二一三・四・七八秒。光度負一・八一・七等。十五日地球よりの距離七億五千五百五十二萬八千餘料。八日午前五時留。二十二日午前五時九分と合(月の北三度二四分)あり。

土星 一日赤緯一二時五三分四三秒、赤緯南三度一一分、十六日赤緯一二時五五分三秒、赤緯南三度一一分、宵星。乙女座を順行中。極直徑一五・六二一・四・八八秒。日没後三時間半にして没し、光度は一〇・一・一。一等外輪の長軸三八・五三秒、短軸六・三五秒(十三日)。十五日地球よりの距離十四億六千九百三十萬餘料。七日午前四時上短。二十日午後〇時一五分と合(月の南〇度一八分)あり。

天王星 十五日赤緯二三時一四分四四秒、赤緯南五度四三分。水瓶座の ϕ 星の東北を逆行中。十五日地球よりの距離二十九億一千二百六十八萬餘料。四日午前八時二九分と合(月の南〇度二七分)あり。三十一日午後四時二分と合(月の南〇度二七分)あり。

海王星 十五日赤緯九時一七分四七秒、赤緯北一五度五八分。蟹座の東端から獅子座へ

(五〇)

八月の天象

順行中。十五日地球よりの距離四十六億三千一百九十三萬餘料。十六日午前十一時三十分と合(月の北二度二八分)あり。三十一日午後八時二八分水星と合(火星の南一度三六分)。

太陽 赤緯は八時四二分二九秒から一〇時三十八分四一秒迄増加し、赤緯は北一八度一三分から北八度三三分迄減する。八日午後一時二五分立秋節。二十四日午後一時五二分處暑節。第三の宮なる處女宮に入る。

月 五日午前四時二二分下弦、十二日午後八時一分新月、十九日午後三時七分上弦、二十六日午後七時二九分滿月。四日午後三時二十四分遠地點を、十六日午後七時〇分近地點を通過す。十五日乙女座 η を掩蔽す。

二十六日の月食 我國から観測し得る食分は一分七厘にして、那覇、長崎、京都、東京、札幌、大泊にては初虧が午後六時五一・八分、復圓が午後八時二七・三分である。

水星 一日赤緯九時二七分四六秒、赤緯北一六度四四分、十六日赤緯一一時三十分一七秒、赤緯北六度一一分。獅子座を順行中、宵星。視直徑五・〇六六・七・四秒、光度負〇・六一正・四等。十五日地球よりの距離一億七千七百六十七萬五千餘料。本月中観測に不便。十八日午後三時降交點通過、二十八日午後九時遠日點通過。

金星 一日赤緯七時五十七分五八秒、赤緯北二一度一一分、十六日赤緯九時一四分一八秒、赤緯北一七度九分、雙子座から獅子座迄順行する。宵星。月半以後は太陽に近接し過ぎて観

測に不便。觀直徑九・九四一・九・七四秒。光度負三・四一・三・五等。十五日地球よりの距離二億五千五百七十九萬八千餘軒、十二日午前七時月と合(月の北三度四分にあり)十八日午後一時四分海王星と合(海王星の北〇度五八分にあり)十九日午前九時近日點通過。二十四日午前一時三分火星と合(火星の北〇度六分にあり)

火星 一日赤經八時五十三分一四秒、赤緯北一八度四二分、十六日赤經九時三十三分三四秒、赤緯北一五度五二分、蟹座から獅子座首星の東北迄順行す。本月中太陽に接近し過ぎて觀測し得ず。十五日地球より距離三億九千八百九十一萬二千餘軒。九日午前五時太陽と合。十二日午後八時一二分海王星と合(海王星の北二度二分にあり)十七日午後五時北方最大日心黃緯。

木星 一日赤緯一四時三十一分三八秒、赤緯南一三度五一分、十六日赤經一四時三六分五八秒、赤緯南一四度二分、乙女座から天秤座迄順行する。光度負一・六一一・五等。極直徑三四・八六・三・一二秒。十五日地球よりの距離八億一千九百七十七萬五千餘軒。三日午前十時上弦(太陽と直前距離十八日午後二時六分と合(月の南三度四分にあり))土星 一日赤經一二時五九分二秒、赤緯南三度四二分、十六日一三時三二分二秒、赤緯南四度二分乙女座を順行中。日没後二時間にして没す。光度一・一一・〇等。極直徑一四・六八秒(九日)十五日地球よりの距離十五億五千萬餘軒。十四日外輪の長軸三六・六八秒、短軸六・六八秒。十六日午後九時八分月

と合(月の南〇度四一分にあり)

天王星 十六日赤經二三時一分三一秒、赤緯南六度四分水瓶座。星の近傍を逆行中。十六日地球よりの距離二十八億六千二百七十一萬餘軒。二十七日午後一〇時二四分月と合

七、八月流星群

六月—七月 赤經 二〇時一二分
七月—八月 二〇時二〇分
七月一八日—八月三日 二二時三六分
七月八月九月 三時一二分
七月八日—八月二五日 三時四十分
八月一八日—二五日 四時八分
八月—九月 二時 四分
八月—十月 二時 四分
七八月は一年中最も流星の多き月なり。

天秤座。星の七、八月分極小 (五六月二回の觀測により修正)

七月 午後一時 一分
三 日 同 一〇時三三分
十七 日 同 一〇時一二分
二十四 日 同 九時四七分
三十一 日 同 九時〇八分

最週期變光星の極大となるもの七、八月分 (星圖用意しあり)

023133 三角座R 七月七 日
133449 白鳥座R 同 十五 日
024220 オリオン座U 八月二十二 日
024211 獅子座R 八月二十二 日

日の視半徑

(月の南〇度二四分にあり)
海王星 十六日赤經九時二二分二三秒、赤緯北一五度三六秒獅子座の西端を順行中。十二日午前〇時太陽と合。十二日午後八時十二分月と合(月の北二度二分にあり)

名	赤緯	射手座流星群	山羊座流星群	水瓶座	ペルセウスαβ	ペルセウス座流星群	龍座流星群	ペルセウスε	牡羊座流星群
北二度	南一四度	南一四度	南一四度	北四三度	北五七度	北三六度	北三五度	北一五度	
午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分	午後八時四三分

週期
二六五日
四二六日
三七四日
三三三日

七月十日 一五五分四五秒
 二十日 一五四分四六
 三十日 一五四分四七
 七、八月夜明、日暮、日出入の時刻及其方位

夜明

日出

日没

日暮

日出入方位

七月一日 三時五〇分

四時二八分

六時一分

七時三九分

二九六度

八月一日 四時一二分

四時三六分

六時五七分

七時三四分

二七六度

八月十六日 四時一二分

四時四八分

六時四六分

七時二二分

二三四度

七、八月の中の星座

四時五九分

六時三一分

七時五分

一八一度

七月一日 牛飼

天 秤

八月一日 冠

天 秤

八月十六日 ヘルクレス

ヘルクレス

八月十六日 ヘルクレス

ヘルクレス

蛇 蛇

射 手

蛇 蛇

新刊紹介

○宇宙建築と其居住者 山本一清氏の新著であつて、氏の持論の一つの顚はれとも云ひ得る。「宇宙と人生」を解して廣い意味の天文学として、其の著を貫いてある。宇宙觀の進展を面白く解り易く、史的に開陳して最近の宇宙觀に及ぼし、天文をやらなければ人間でないといふ結論に至られて居る。之れは昨夏東京市民自由大學の講演を一般に解し易からしめられたものだと思ふ。(警醒社發行定價壹圓六拾錢)

○天文界之智囊 貳圓五拾錢中興館書店
 前幹事古川龍城氏の著 菊判二六七頁

天文学全汎に互つて全て問答體に書いたもので内容の繁簡宜しきを得行文も流暢にて非常に讀み易い書である。初學者のために好參考書であらう所々六號活字にて參照書引用書を掲げたのは大層結構に思ふ。(天文台人)

仙臺支部新設

二高生大石三郎君の御盡力に由り多數の入會者を見た仙臺市に新たに支部を設立し、二高地質學教授吉井正敏氏を同支部幹事に推薦した。(六月十五日)

既刊天文急報

(五二)

- | | |
|------|-----------------|
| 第一號 | 一九二二cバード彗星の軌道要素 |
| 第二號 | 一九二二dスケレルプ彗星發見 |
| 第三號 | ベライン彗星 |
| 第四號 | 最近の彗星出現 |
| 第五號 | 天秤座の極小 |
| 第六號 | 天秤座の極小 |
| 第七號 | 天秤座の極小 |
| 第八號 | 天秤座の極小 |
| 第九號 | 天秤座の極小 |
| 第十號 | 天秤座の極小 |
| 第十一號 | 天秤座の極小 |
| 第十二號 | 天秤座の極小 |
| 第十三號 | 天秤座の極小 |
| 第十四號 | 天秤座の極小 |
| 第十五號 | 天秤座の極小 |
- 北冠座R 觀測部例會に就いて